

＜平成 27 年度＞

## 地域振興部の運営方針

地域振興総務課  
生涯学習課  
文化振興課  
産業振興課  
農政課

### ■基本情報■

＜担当事務＞

- (1) 都市交流及び観光に関すること。
- (2) 生涯学習の推進に関すること。
- (3) 文化振興に関すること。
- (4) 商工業及び雇用対策、就労支援に関すること。
- (5) 農業に関すること。

＜部の職員数＞H27年4月1日現在

正職員	64名
再任用職員	15名
任期付職員	1名
非常勤職員	47名
合計	127名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

### ■基本方針■

地域振興部は、文化、生涯学習と農業・商業・工業・観光の産業を担当しており、いずれも「枚方市民であることを誇りに思うまち」を創造する上で、また人口減少を抑制する上で、欠かせない施策分野です。

これらを進めるため、市民や関係団体、事業者等との連携を一層密にし、効果を最大限発揮できる施策の立案、執行に努めていきます。

総合文化施設と美術館の2つの文化芸術拠点の整備に取り組むとともに、文化芸術振興条例に基づく基本施策を総合的に推進するための文化芸術振興計画を策定し、本市で培われてきた文化・芸術の土壌をさらに発展させていきます。

また、市内産業の振興は、地域での雇用創出や税収確保の面からも重要であり、創業支援をはじめとした新たな産業の創出や商工業の活性化に向けた取り組みを行います。

さらに、農業後継者の育成と農業経営に必要な農地確保など、まちづくりの観点から「農」を守る取り組みを進めます。

### I 重点施策・事業

#### ◆生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理導入に向けた準備

市民サービス向上と効率性の観点から、生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の円滑な導入に向けて準備を進めます。平成27年度は、平成28年4月から2施設に先行導入するための手続き等を行います。



ひらかた人形劇フェスティバル

#### ◆文化芸術の拠点整備に向けた取り組み 総合文化施設の整備

総合文化施設の整備については、平成27年度から、基本設計・実施設計に着手します。あわせて、まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術の拠点施設とするための施設運営計画の策定に取り組めます。また、運営主体については、本市の文化芸術事業を担っている

(公財) 枚方市文化国際財団の今後のあり方も含め検討します。

#### 市民からの建物寄附による美術館の整備

市民からの建物寄附による美術館については、美術館整備に反対する市民等の妨害により、建物建設工事が遅れており、早期の竣工に向けた環境づくりを進めます。また、開館後の運営体制や記念事業等について検討を進めます。

#### ◆文化芸術振興計画の策定

平成 26 年 4 月に施行した枚方市文化芸術振興条例に基づく文化芸術振興計画の策定に取り組みます。

平成 26 年度に設置した枚方市文化芸術振興審議会では、市民や芸術家、事業者等と連携を図りながら、市民の文化芸術活動の機会の充実、障害者等だれもが文化芸術に親しむ機会の環境整備、文化芸術を支える人材の育成など、条例に規定する基本施策を総合的に推進するための調査・審議を行い平成 27 年度に計画を策定します。

#### ◆「プレミアム付商品券」の発行や「まちゼミ」への支援

「地域住民生活等緊急支援のための交付金（消費喚起・生活支援型）」を活用して、プレミアム付商品券を発行し、市内消費喚起と地域商業の活性化を図ります。

商業団体が実施する「まちゼミ」（店主が各店舗で実施する無料のミニ講座）に、支援を行い、地域コミュニティの担い手でもある商店街活性化につなげていきます。

また、平成 27 年度に策定予定の地方版総合戦略において市内産業活性化や雇用促進に資する施策について、商工団体や金融機関等と意見交換を行いながら、企画立案します。



「まちゼミ」実施状況

#### ◆農業後継者の育成と農地の保全

都市農業ひらかた道場による新規就農研修事業については、第 2 期研修生 2 名を新たに迎え、研修生 5 名を対象に農業後継者の育成に取り組みます。第 1 期研修生 3 名が本年度末で研修を終えることから、平成 28 年度からの円滑な就農と定着化に向けた支援策を構築します。

また、平成 26 年度実施のアンケート調査をもとに得られた、農地の提供農家の情報を活用し、農地銀行等と連携して、第 1 期研修生の農業経営に必要な農地確保に向けた取り組みを進めるなど、効果的な支援を行います。



都市農業ひらかた道場研修風景

## II 行政改革・業務改善

### <行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
28. 生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	平成 28 年 4 月からの 2 複合施設への指定管理者制度の先行導入に向けて、所定の手続きを行う。
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	枚方文化観光協会に、27 年度中の中期経営プランの策定を促す。
48. 新たな産業振興策の推進と雇用創出の仕組みづくり	情報交換会の開催など連携の仕組みづくりを行なうとともに、雇用のマッチング・定着支援に資する事業の企画立案を行う。

### <改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
文化観光協会負担金交付事業	性質別での報告となっている団体の決算報告について、より透明性を確保するため、事業別での報告を検討するよう働きかける。
枚方市魅力発信事業	新たな魅力発信事業を本事務事業に含めることで、効果的な情報発信を行う。
伝統産業育成事業	現行事業は休止。伝統産業に係る支援方法の検討を行う。
中小企業エコアクション21認証取得促進事業	ISO 14001 認証取得事業と統合の上、事業者への制度周知を図る。

### <業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	引き続き接客研修を実施するなど接客能力を高め、市民や事業者への対応を円滑に行い、満足度の向上に努める。また、シフト制による交替勤務のある各生涯学習市民センターにおいては、併せて、業務日誌などを活用し、適切な引き継ぎを行う。
効率的な会議の実施	会議等において、終了時刻や終了目標を明確に設定することで、メリハリのある会議を行なう。

## III 予算編成・執行

- ◆イベント等の内容や実施主体の見直しなどを行い、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。
- ◆国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金（消費喚起・生活支援型）」を活用して、プレミアム付商品券発行に係る予算 3 億 7586 万円を確保しました。

## IV 組織運営・人材育成

- ◆地域振興部の多くの業務が、市民や事業者、関係団体との連携を必要とすることから、より効果的な事業支援が行えるよう、市内の現地視察や他市への研修を充実させます。
- ◆地域振興総務課では、国内外の友好都市との交流事業などが年間を通して多数あるため、担当職員以外でも、その業務が行えるよう応援体制を整えます。
- ◆産業振興課で所管する融資に係る相談対応について、研修・OJT を通じてスキルの向上を図ります。また、事業者支援に向けて、関係団体とも連携して、事業者の実情把握に努めます。

## V 広報・情報発信

- ◆イベント情報の効果的な発信  
地域振興部で実施する様々なイベントについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、チラシなどを活用し、効果的な情報発信に努めます。
- ◆プレミアム付商品券発行の周知  
プレミアム付商品券をより多くの市民に利用していただけるよう、広報ひらかたのほか各種媒体、PR イベント等を通じて、事業者・市民への周知を図っていきます。